

# ドリーム庄内“秋のつどい”で 食の話題を提供しました

10月18日、松本市庄内地区公民館で「ドリーム庄内“秋のつどい”」が開かれました。長野農政事務所地域第一課は、会場で食生活の改善(食事バランスガイド)や教育ファームの推進、食育と朝食の奨励などを説明しました。

同公民館では、この秋より“絆”をテーマに、家族団らんをイメージした現代的な親子の案山子(写真中段)を展示しています。

長野農政事務所地域第一課は、このテーマにあわせて、コルクボード(写真右下)に40年前の家族構成と食事内容の比較、食料自給率の動きとの結びつきなどを展示し、食にまつわる話題を提供しました。



ステージ(写真上)や館内(写真左)では、さまざまな催しや展示があり、にぎやかでした。当日の来場者は1000人を超えたそうです。

## <取組の経緯>

長野農政事務所地域第一課が同公民館で4～5月にミニパネル展を行った経緯もあって、つどい実行委員長より、“語り部”としてお招きをいただきました。

今後、地域のみなさんと一緒に消費者懇談会や学習会なども企画したいと考えています。



長野農政事務所地域第一課